

1 計画策定の趣旨

- 県では、平成21年3月、岩手県地域福祉支援計画を策定し、「互いに認め合い、共に支え合いながら誰もが安心して暮らせる地域社会の実現」を基本理念に掲げ、地域福祉の推進に取り組んできました。
- 計画策定以降も、少子化等の影響による人口減少や高齢化や過疎化の進行等により、地域の支え合いや助け合いなどの相互扶助機能が弱体化するとともに、子どもの貧困やダブルケア、生活困窮者など、地域住民が抱える課題や福祉ニーズは多様化・複合化しています。
- 東日本大震災津波による被災地では、人口減少や高齢化、生活環境の変化などの課題があり、中長期的な見守り支援体制の充実や、新たな「福祉コミュニティ」づくりが求められています。
- 国では、「地域共生社会」の実現に向け、高齢者や障がい者、子どもなどを包括的に支援するための体制づくりや、住民主体の相互に支え合う地域づくりの取組が進められています。
- こうした状況の変化等を踏まえ、ソーシャル・インクルージョンに基づいた地域社会の実現を目指し、幸福を守り育てる、岩手らしい地域福祉を推進するため、第3期計画を策定するものです。

2 計画の位置付け

- 社会福祉法第108条の規定に基づく都道府県地域福祉支援計画であり、県の地域福祉推進の理念、基本方針を示すとともに、市町村地域福祉計画の達成に資するため、広域的な見地から地域福祉の推進を支援する計画です。
- 県民、地域団体、福祉事業者、市町村等が、それぞれの役割に基づいて取り組むべき地域福祉分野に関する活動の基本的方向を示す計画です。
- 「いわて県民計画（2019～2028）」の下、「いわていきいきプラン2020」、「岩手県障がい者プラン」、「いわて子どもプラン」等の福祉の他の領域別計画や「岩手県社会福祉協議会活動計画」と連携しながら、本県の地域福祉の総合的な推進を図る計画です。

3 計画の期間

計画の期間は、平成31年度から平成35年度までの5か年とします。

計画の概念図

市町村地域福祉計画

◇市町村の地域福祉の推進に関する事項

- 高齢者、障がい者、児童等の福祉の取組
- 福祉サービスの適切な利用の推進
- 社会福祉を目的とする事業の健全な発達
- 地域福祉活動への住民参加の促進
- 包括的な支援体制の整備

他の福祉計画

次世代育成支援計画・子ども子育て支援事業計画

障害者計画・障害児福祉計画

高齢者福祉計画・介護保険事業計画

市町村社会福祉協議会

協働

地域住民

地域福祉活動団体

事業者

学校

企業

支援

岩手県社会福祉協議会

連携

いわて県民計画(2019～2028)

岩手県地域福祉支援計画

◇市町村の地域福祉推進の支援に関する事項

- 高齢者、障がい者、児童等の福祉の取組
- 市町村の地域福祉の推進を支援するための基本的方針
- 社会福祉を目的とする事業に従事する者の確保、資質の向上
- 福祉サービスの適切な利用促進及び社会福祉事業の健全な発達の基盤
- 市町村における包括的な支援体制の整備への支援

4 地域福祉を取り巻く状況

人口減少と高齢化の進行

◇人口の推移

- ・本県の総人口は、2025年には、114万人まで減少し、高齢化率は35.4%と見込まれています。

◇世帯の状況

- ・2025年には、高齢夫婦のみ世帯は、全世帯の13.1%、高齢者単独世帯は、全世帯の13.0%と、合わせて、全世帯の26%まで増加するものと予測されています。

地域福祉に関する県民意識

○「地域福祉」のイメージ

- ①誰にとっても暮らしやすい社会をつくること : 34.8%
- ②日常生活で困った時にお互いに助け合うこと : 26.7%
- ③お年寄りや障がいのある人、子育て中の人を周りの人が支えること : 25.7%
- ④お年寄りや障がいのある人のために施設や制度を整えること : 8.6%

○近所づきあいについての県民意識

- ①わずらわしいと感じることもあるが、万一の際に互いに助け合えるよう日頃から大切にしている : 59.3%
- ②相談したり助け合うことは当然 : 21.8%
- ③わずらわしいことが多く、あまり関わらないようにしている : 13.7%
- ④なくても困らない : 3.8%

○現在の地域の福祉課題

- ①地域で支援を必要としている人が増えていること : 64.5%
- ②隣近所で支え合う関係が少なくなっていること : 55.5%
- ③安心して生活できるサービスや施設が整っていないこと : 25.1%
- ④災害時の助け合いの体制づくりができていないこと : 19.0%
- ⑤引きこもりや孤立している人が増えていること : 16.6%

「希望郷いわてモニターアンケート(H30年2月)」

市町村地域福祉計画の策定状況

県内33市町村のうち、平成29年度末現在で、28市町村において、地域福祉計画を策定し、施策に取り組んでいます。

◇地域福祉計画を策定し、施策に取り組んでいる市町村数(累計)

計画策定時の状況(H26)	年度目標値(下段:実績値)			計画目標値(H30)
	H27	H28	H29	
21市町村	24市町村(25市町村)	27市町村(27市町村)	30市町村(28市町村)	33市町村

〔いわて県民計画(アクションプラン)の目標値の達成状況〕

5 計画の基本的考え方

基本理念

～「互いに認め合い、共に支え合いながら、誰もが安心して暮らし、幸福を実感できる地域社会の実現(仮)」～

基本方針

県民誰もが、身近な地域社会で、年齢や性別、心身の障がいの有無に関わりなく、お互いの個性や尊厳を認め合い、共に生活するという考え方(ソーシャル・インクルージョン)に基づいた地域社会の実現

施策の基本方向

1 市町村の体制づくり

2 福祉を支える人づくり

3 福祉サービス提供の仕組みづくり

4 福祉でまちづくり

5 被災地の福祉コミュニティの構築と生活支援

岩手県地域福祉支援計画(第3期)策定経過

H30年4～11月

現計画の評価・次期計画検討

- ・県地域福祉推進協議会
- ・庁内関係課等連絡会議

H30年12月～H31年1月

・パブリックコメント

・圏域計画説明会

H31年2月～3月

・地域福祉推進協議会での審議

・岩手県地域福祉支援計画(第3期)の策定

H31年4月
第3期計画施行